

授業評価の総括（教養）

- 対象期間： 令和2年度
- 対象教員等：1年次の授業担当者（3コマ以上を受け持つ者＜非常勤講師を含む＞）
及び実習担当教室
- 対象授業等：授業担当者は延べ38名、実習は7教室
- 回答数：①講義：2227（受講者数総計2768、回答率80%）
②実習：499（受講者数総計604、回答率83%）

総 評

講義：令和2年度の教養科目（1年生）担当教員の平均値は4.16であった。他学年と比較すると低い評価であった（2年生は4.60、3年生は4.26、4年生は4.20、全学年平均値は4.30）。平均値を前年度と比較すると、評価は向上した。（令和元年度は3.78）

実習：科目ごとの評価の最高点は4.58、最低点は3.99、平均値は4.24であった。これは、前年度の最高点が4.68、最低点が3.73、平均点が4.19であったことを比較すると、評価はやや上がった。

個別評価

講義：前年度と比較するとほとんどの講義で評価は上がった。平均で見ると全ての評価項目において評価は向上しており、特に「授業の内容は分かりやすかったですか」、「授業の内容に興味を持つことができましたか」という項目の評価がそれぞれ3.63から4.07へ、3.46から4.01へと大きく上昇した。

実習：総合評価の最高値は4.68から4.58へとやや低下したが、前年度に総合評価が3点台であった3科目が、3.99、4.06、4.23と、いずれもほぼ4点台にまで改善している。

改善計画

講義、実習担当者からの改善計画を以下に抜粋する。

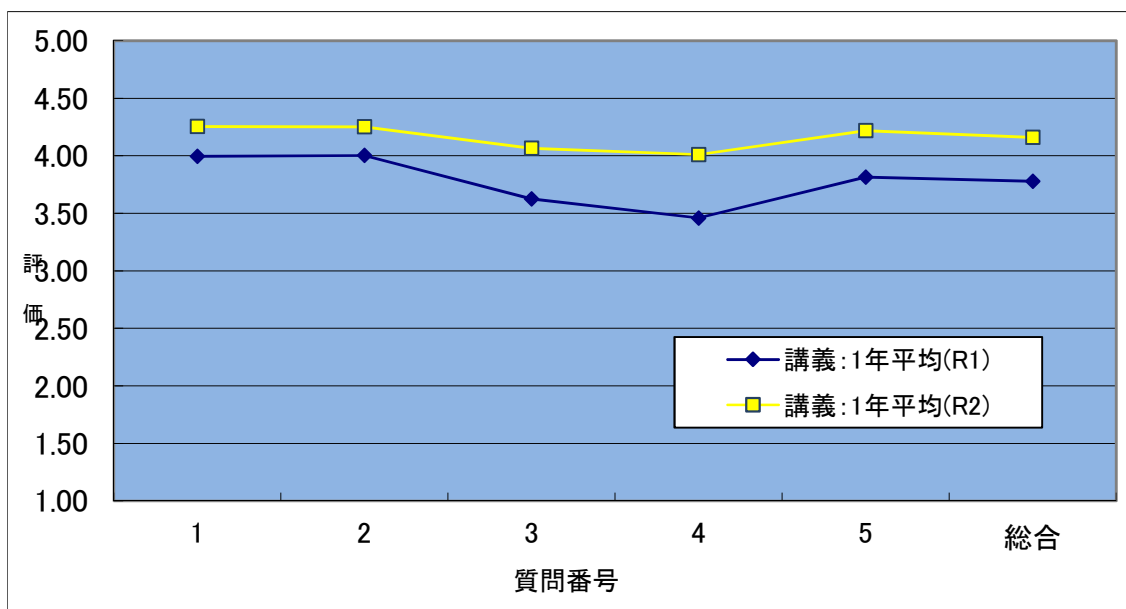
【講義】

- ・遠隔授業となったため学生の反応を確認しながらの講義が困難であった。R3年度の遠隔授業では、学生の反応や理解度をミニツツペーパーなどにより把握した上で講義がすすめられるよう工夫したい。
- ・昨年度は終始遠隔講義となり、Teamsでリモート講義を行ったが特に大きな混乱をなく終えることができた。今年度は対面・遠隔のどちらになっても対応できるように事前の講義準備を入念に行う。
- ・学生からの質問をメール・チャット等で受け付け、理解度に配慮しながら講義を進める。
- ・インターネット上のフォームで寄せられた質問に講義中に丁寧に回答する試みは好評だったので、対面での講義が再開されても継続したい。
- ・過去の内容を少し修正し、講義資料を配布するように変更する。
- ・外国語科目は、学生が興味を持てるように工夫する。また、分かりやすく親しみやすい授業を目指す。

【実習】

- ・今年度は遠隔授業を交えた実習となるが、十分な教育効果を上げる事が出来るよう、内容や方法を吟味したい。

講義(1年)



	1	2	3	4	5	総合
講義:1年平均(R1)	4.00	4.00	3.63	3.46	3.81	3.78
講義:1年平均(R2)	4.25	4.25	4.07	4.01	4.22	4.16

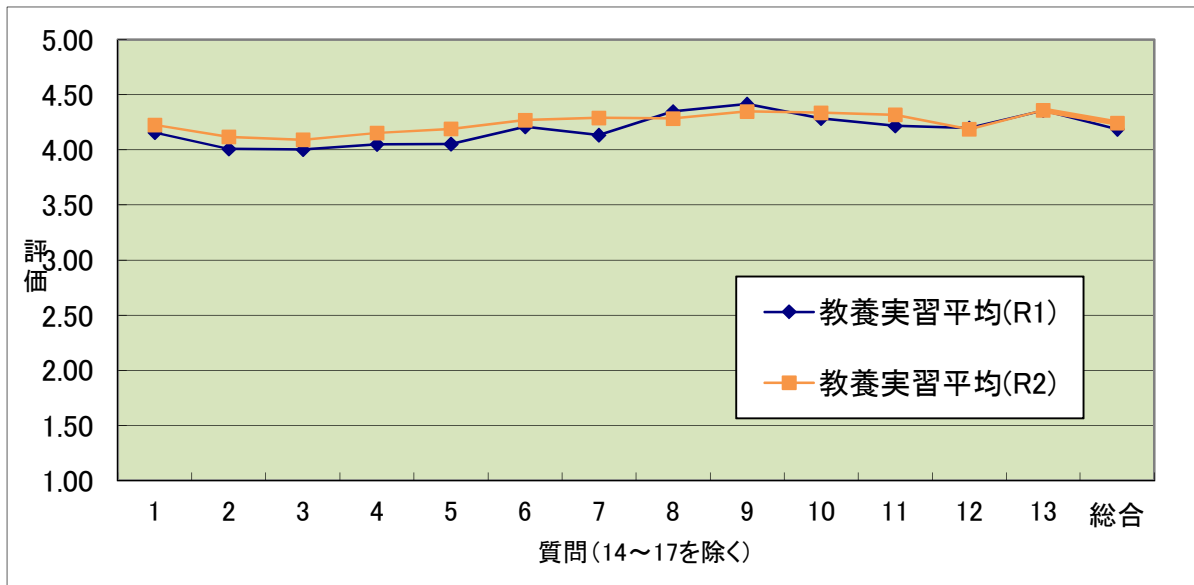
【授業評価アンケート】

設問1～5について以下の選択肢を使用して回答してください。

1. 良くない 2. やや劣る 3. 普通 4. 良い 5. 非常に良い

- 1 授業の開始時間に対し散漫ではなく、授業内容に対して時間配分は適切でしたか？
- 2 授業の構成、内容は十分準備されていましたか？
- 3 授業はわかりやすかったか？
- 4 授業の内容に興味を持つことができましたか？
- 5 授業の内容が教育要項に準拠していましたか？

教養実習



	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	総合
教養実習平均(R1)	4.16	4.01	4.00	4.05	4.05	4.21	4.13	4.35	4.41	4.28	4.22	4.20	4.36	4.19
教養実習平均(R2)	4.23	4.12	4.09	4.15	4.19	4.27	4.29	4.28	4.35	4.34	4.32	4.19	4.36	4.24

【授業評価アンケート】

設問1～13について以下の選択肢を使用して回答してください。

N(0). わからない 1. 良くない 2. やや劣る 3. 普通 4. 良い 5. 非常に良い

- 1 実験・実習の必要性や位置づけが明確でしたか？
- 2 実験・実習内容の分量は適切でしたか？
- 3 実験・実習のレベルは適切でしたか？
- 4 実験・実習で取り上げられた事柄は興味ある内容でしたか？
- 5 この実験・実習で学んだことは、今後役に立つと思えましたか？
- 6 教員の熱意や意欲を感じましたか？
- 7 説明の仕方はわかりやすかったですか？
- 8 実験・実習を行ううえで、人数・グループ分けは適切でしたか？
- 9 実験・実習に必要な設備器具は整っていましたか？
- 10 実験・実習上の注意事項について十分な説明がありましたか？
- 11 学生からの質問に対して適切な指導がありましたか？
- 12 提出したレポート・スケッチに対する指導は十分でしたか？
- 13 実験・実習を受講するうえで、実習テキスト(プリント含む)は役に立ちましたか？

授業評価の総括（基礎）

- 対象期間：令和2年度
- 対象教員等：2・3年次の授業担当者(3コマ以上を受け持つ者<非常勤講師を含む>)、及び実習担当教室
- 対象授業等：①講義(2年次)：29名(延べ人数)、②講義(3年次)：21名(延べ人数)、③実習(2～4年次)：10実習
- 回答数：①講義(2年次)：1433(受講者数総計3045、回答率47%)
②講義(3年次)：910(受講者数総計2205、回答率41%)
③実習：661(受講者数総計1056、回答率63%)

総評

令和2年度については、新型コロナウイルス感染予防対策として遠隔授業となったが、前年度と比較すると、講義・実習ともに高い評価となった。

1. 2年次講義：平均値、最高値、最低値ともに向上した。
2. 3年次講義：最高値はわずかに低下したが、平均値、最低値ともに上昇した。
3. 実習：平均値、最高値、最低値ともに向上した。

個別評価

1. 2年次講義
 - (ア) 平均値、最高値、最低値の全てが向上した。(元年度、2年度の順に、平均値は4.09、4.60、最高値は4.59、4.83、最低値は3.69、4.28)。
 - (イ) 平均値4.60は、昨年度に比べて大きく上がった。
2. 3年次講義
 - (ア) 平均値は4.26で、前年度に比して上昇した。
 - (イ) 最高値がわずかに低下したものの、最低値が上がったため平均値は上昇した。(元年度、2年度の順に平均値は4.06、4.26、最高値は4.55、4.54、最低値は3.26、3.78)
3. 実習
 - 平均値、最高値、最低値の全てが向上した。(元年度、2年度の順に、平均値は4.15、4.49、最高値は4.53、4.80、最低値は3.52、4.10)。

改善計画等

講義、実習担当者からの改善計画を以下に抜粋する。

【講義】

- ・過去の内容を少し修正し、講義資料を配布することとした。
- ・講義内容が難しいことは認めるので、それを上手く説明するようにする。
- ・講義に関連したニュースなど、教科書以外の最新の知識・情報を積極的に取り入れ分かりやすく、かつ興味をもてる講義を目指す。
- ・法医学は医と法の無数の接点における諸問題を科学的に解決する実践的医学である。現在では

全ての医師において法医学の知識は必要不可欠である。したがって、臨床医学における法医学の必要性をさらに強調しながら講義を行い、グローバルな医療人の教育に努める。

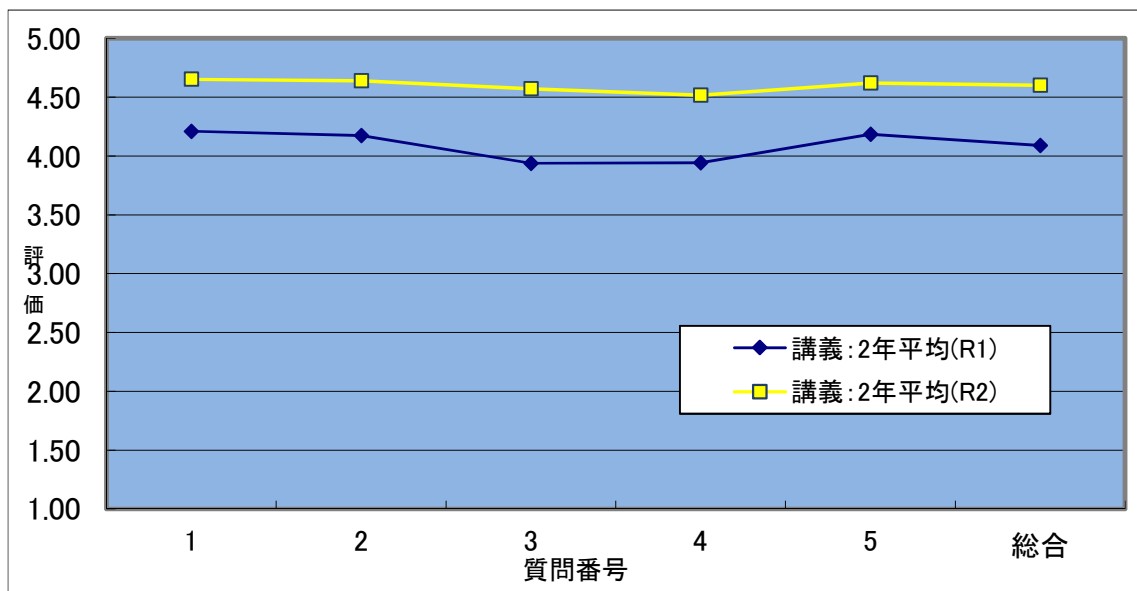
- ・授業の分かりやすさ、興味を持たせる工夫という点で改善の余地があると考え、より一層の改善を検討する。
- ・動画を今まで以上に増やし、学生がイメージしやすい教材になるようにすることで授業内容に興味を持てるようにする。
- ・オンライン授業では学生の顔をみて講義ができないため、理解度評価が難しい。このため、難易度の高い講義内容よりも比較的基本を重視した講義を行う。
- ・オンライン授業では学生の反応が分からず、説明の適時調整ができなかった。次年度授業説明の要点を限定したい。
- ・最近ホットな遺伝子診断・治療に関連する病理学の重要性を、わかりやすく解説して、病理学に興味と関心をもつ学生を増やしたい。
- ・R2年度はオンライン講義となったため、簡潔にまとめた講義とした結果、疾患や検査などとの関連の一部を割愛した。本年度は冗長にならないように気をつけつつ伝達する内容を増やせるように講義内容の改善に取り組みたい。
- ・R2年度はリモート初年度ということで大変戸惑ったが、次年度からはもっと相互で意思疎通できるような機会を増やしてより効果のある授業にしていきたい。
- ・授業内容への興味を高めるよう、疾患との関連を基本として他の代謝経路との関連を含めて講義を行う。時間がある場合は、関連分野についての最近の論文についても紹介する。
- ・遠隔授業では双方向性が担保できるよう、講義時間内に小テストを行う。また質疑応答しやすい雰囲気をつくるよう努める。
- ・2人一組での各論の発表を1人での発表にすることによって責任感をもってもらえるように、興味をもてるように変更する。
- ・遠隔授業で使用した出席フォームを理解度確認フォームとして活用したところ理解度をリアルタイムで把握できたので、今年度も活用したい。
- ・人体の正常構造を機能と関連づけて理解させるように講義を行ってきた。また細胞の名称が生理学的及び様々な疾患においてどのような位置づけにあるかを理解できるように、生理学的・病理学的な内容や疾患例を挙げながら、単なる丸暗記で終わることのない授業を目指していきたい。
- ・質問事項に対して基本的な知識と回答に到る考え方を教え、そこから学生自身が正解を導き出せるようにすることで、「思考力」を育て、それにより膨大な医学知識を網羅できるようにすることを目標とする。
- ・時間配分が適切であったかという項目について低評価の学生がいた。遠隔授業にしては、少し長めの時もあったので、今後遠隔授業の場合は少し短めに切り上げたい。

【実習】

- ・コロナ禍で実習課題数が制限された場合でも実習分野の重要事項が体得できるように実習内容を調整する。
- ・令和2年度はコロナの影響により不十分な内容となった。今後はいろいろな場面に対応する準備の必要性を感じた。

- 実習の目的が明確になるように実習書を詳しくわかりやすくする。
- オンラインでの実習は難しく、結局は学生個人の自宅学習によるところが大きい。オンラインでバーチャルスライドの観察ができるシステムを取り入れて実習内容を改善したい。
- **Web** との併用により様々な質問に対応していきたい。
- 全体として評価は悪くないが、「内容の分量が適切であった」という項目に低評価をしていた学生が一人いた。少し過大であった可能性のある項目については、少し短めに切り上げるようにする。

講義(2年)



	1	2	3	4	5	総合
講義:2年平均(R1)	4.21	4.17	3.94	3.94	4.19	4.09
講義:2年平均(R2)	4.65	4.64	4.57	4.52	4.62	4.60

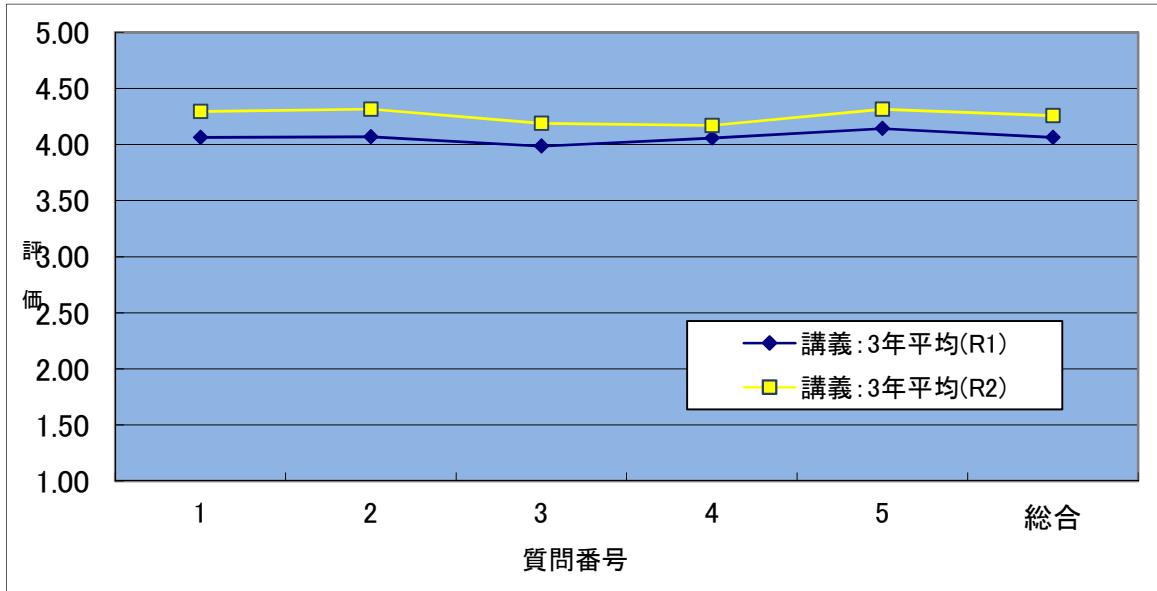
【授業評価アンケート】

設問 1～5について以下の選択肢を使用して回答してください。

1. 良くない 2. やや劣る 3. 普通 4. 良い 5. 非常に良い

- 1 授業の開始時間に対し散漫ではなく、授業内容に対して時間配分は適切でしたか？
- 2 授業の構成、内容は十分準備されていましたか？
- 3 授業はわかりやすかったか？
- 4 授業の内容に興味を持つことができましたか？
- 5 授業の内容が教育要項に準拠していましたか？

講義(3年)



	1	2	3	4	5	総合
講義:3年平均(R1)	4.06	4.07	3.99	4.06	4.14	4.06
講義:3年平均(R2)	4.29	4.32	4.19	4.17	4.31	4.26

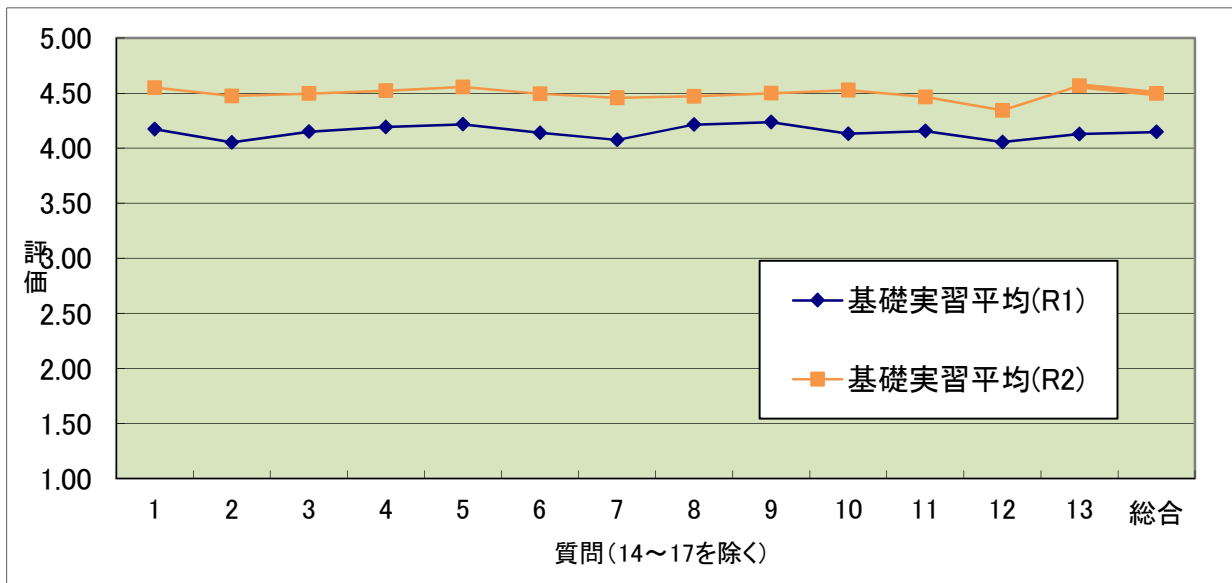
【授業評価アンケート】

設問 1～5について以下の選択肢を使用して回答してください。

1. 良くない 2. やや劣る 3. 普通 4. 良い 5. 非常に良い

- 1 授業の開始時間に対し散漫ではなく、授業内容に対して時間配分は適切でしたか？
- 2 授業の構成、内容は十分準備されていましたか？
- 3 授業はわかりやすかったか？
- 4 授業の内容に興味を持つことができましたか？
- 5 授業の内容が教育要項に準拠していましたか？

基礎実習



	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	総合
基礎実習平均(R1)	4.17	4.05	4.15	4.19	4.22	4.14	4.08	4.21	4.24	4.13	4.16	4.06	4.13	4.15
基礎実習平均(R2)	4.55	4.47	4.50	4.52	4.56	4.49	4.46	4.47	4.50	4.53	4.47	4.34	4.57	4.49

【授業評価アンケート】

設問1～13について以下の選択肢を使用して回答してください。

N(0). わからない 1. 良くない 2. やや劣る 3. 普通 4. 良い 5. 非常に良い

- 1 実験・実習の必要性や位置づけが明確でしたか？
- 2 実験・実習内容の分量は適切でしたか？
- 3 実験・実習のレベルは適切でしたか？
- 4 実験・実習で取り上げられた事柄は興味ある内容でしたか？
- 5 この実験・実習で学んだことは、今後役に立つと思いませんか？
- 6 教員の熱意や意欲を感じましたか？
- 7 説明の仕方はわかりやすかったですか？
- 8 実験・実習を行ううえで、人数・グループ分けは適切でしたか？
- 9 実験・実習に必要な設備器具は整っていましたか？
- 10 実験・実習上の注意事項について十分な説明がありましたか？
- 11 学生からの質問に対して適切な指導がありましたか？
- 12 提出したレポート・スケッチに対する指導は十分でしたか？
- 13 実験・実習を受講するうえで、実習テキスト(プリント含む)は役に立ちましたか？

授業評価の総括（臨床）

- 対象期間：令和2年度（ただし、臨床実習については、R2.2～R3.2）
- 対象教員等：4年次の授業担当者(3コマ以上を受け持つ者<非常勤講師を含む>)及び臨床実習担当教室
- 対象授業等：①講義(4年次)：49名、②臨床実習(5年次)：27実習
- 回答数：①講義(4年次)：1700（受講者数総計：4995、回答率34%）
②臨床実習(5年次)：686（受講者数総計：2754、回答率25%）

総評

4年次の授業評価（講義）の平均値4.20は、前年度と比較して、講義の評価はやや上がった（令和元年度4.11）。

臨床実習の授業評価（設問12からの自己評価については除く）については、4.04であり、前年度と比較するとやや向上した。（令和元年度3.96）。

個別評価

4年次の講義については、評価の最高点が4.66、最低点が3.78、平均点4.20であり、前年度と比較すると全体的に評価がやや上昇した（令和元年度は、最高点：4.53、最低点：3.78、平均点：4.11）。今年度も昨年度と同様、評価の分布が4.00～4.50に集中している。

臨床実習については、評価の最高点が4.44、最低点が3.59、平均点が4.04であり、前年度と比較すると最高点が下がり、最低点が上がったため、全体としてはやや上昇した。（令和元年度 最高点：4.49、最低点：3.31、平均点：3.96）

改善計画等

講義、実習担当者からの改善計画を以下に抜粋する。

【講義】

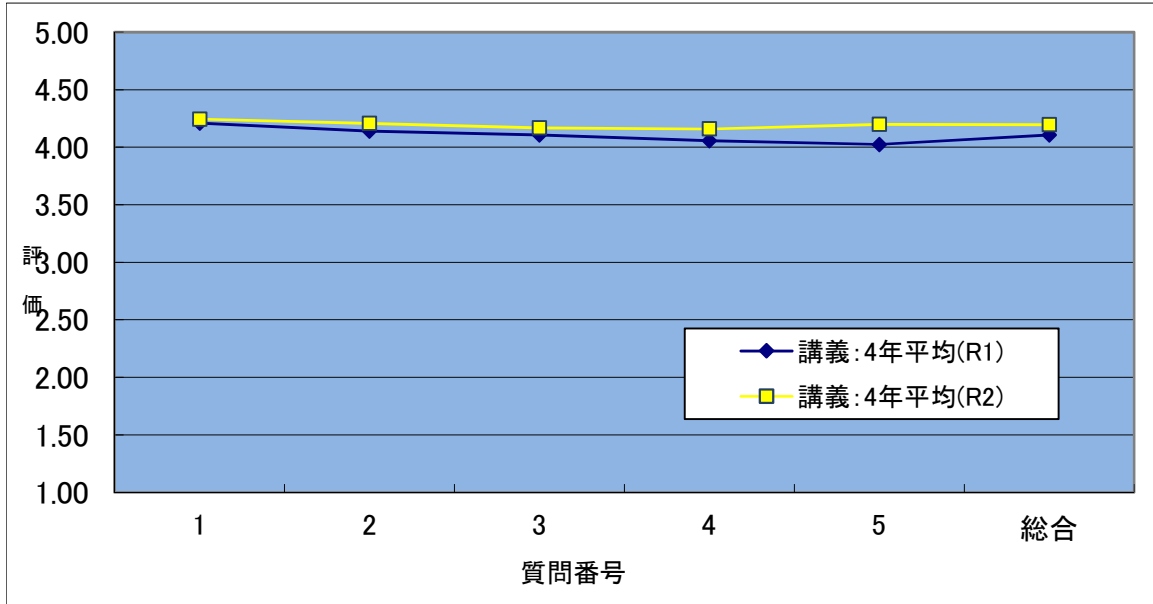
- ・出来るだけ講義を聴きやすいよう視覚的なスライドを使用する。
- ・遠隔講義をするうえで、疾患概念よりも最新の情報を説明することを心がけていたので、今後も同様に対応する。
- ・リモートであれ対面であれ、学生との相互コミュニケーションを重視する講義内容で臨床の実行性につながる内容にしたい。
- ・リモート講義の場合、どうしても集中が切れやすいので、適宜休憩をはさみながら行う。リモート講義でも質問形式で授業に取り入れることができるか検討したい。
- ・臨床医学の基礎となる内容の講義に加えて、将来のリサーチマインド育成につながるような内容を無理のない範囲で加えたい。
- ・最新の知見を常にアップデートした内容にする。卒業試験や国家試験も見据えた内容にする。
- ・Web授業にあわせて内容を構成しなおしたい。
- ・R2年度はオンラインであったため、双方向の授業をすすめるが難しかった。個別の学生に質問をあてるなどのやり方を工夫したい。
- ・講義内容の範囲が広いので、もう少し症例や疾患の焦点を絞るようにしたい。
- ・ディスカッションなどでもう少し学生も参加できる授業にしたい。
- ・節目節目に過去の国家試験問題を例示しながら内容を説明するなど、実臨床において個々の知識がどのように繋がるのかに重きを置いて講義を行っているが、今後もさらに実臨床で

役立ち興味を持てる講義を目指したい。

【実習】

- ・今後も対面・リモートともにより臨床に直結する実践的な学びができる実習を目指していきたい。タームごとの目標を持たせて達成できたかどうかをフィードバックするようにしたい。
- ・学生自ら問題を見つけ解決することを導くような実習を心がけたい。
- ・学生グループ全体の理解度を確認しつつ進めていくよう改善する。
- ・1症例を2~3名ずつのグループで受け持つため、討論では積極的な学生とそうでない学生の差ができる。今後は討論の際にまんべんなく話を振るように心がける。
- ・症例ごとに疑問点を出し合って、その理由をディスカッションする時間をもう少しとるようにしたい。そのためのコマ数を確保したい。
- ・当科の性質上、診療や処置に学生が参加することができず、外来診療見学・セミナー・手術見学のみの実習となっている。そのため学生と接する機会が極めて少なく学生のモチベーション、興味を得られにくいと思う。根本的に実習内容を再検討すべきと考える。
- ・コロナ禍において最大の効果をあげられるような教育体制を目指したい。
- ・教育内容を現在のニーズに合わせたものとし、学生が学習効果の高い教育方法にアップデートする。
- ・R2年度は新型コロナウイルスの影響で学生が手洗いをして手術に参加できないなど不十分な面があったと思う。手術室内での説明や術後の解説をする時間を増やして、テキストでは学べない実臨床を勉強してもらえるように改善していきたい。
- ・当科は教員が少なく、時間を十分とれない事が多いため短時間で要点を伝えていくよう工夫したい。
- ・例年通りの評価であるが、学生が興味をもちにくい領域であるので、机上の知識の授受ではなく、より体を動かし、手を動かし、実際に体験してもらう実習を増やしたい。
- ・学生を割り当てた各病棟グループ内での指導を充実させる。選択実習生や研修医といった5年生と年次の近い者からのレクチャー（または科の印象）を提供することで臨床の雰囲気をもっと身近に感じてもらうように努める。
- ・担当症例の課題について議論し、レポートの作成を支援することで指導医と討論の時間を十分に確保する。
- ・忙しい中でも学生に気を使わせることなく、じっくりと意見を言い合える環境を提供していく。

講義(4年)



	1	2	3	4	5	総合
講義:4年平均(R1)	4.21	4.14	4.11	4.06	4.02	4.11
講義:4年平均(R2)	4.24	4.21	4.17	4.16	4.20	4.20

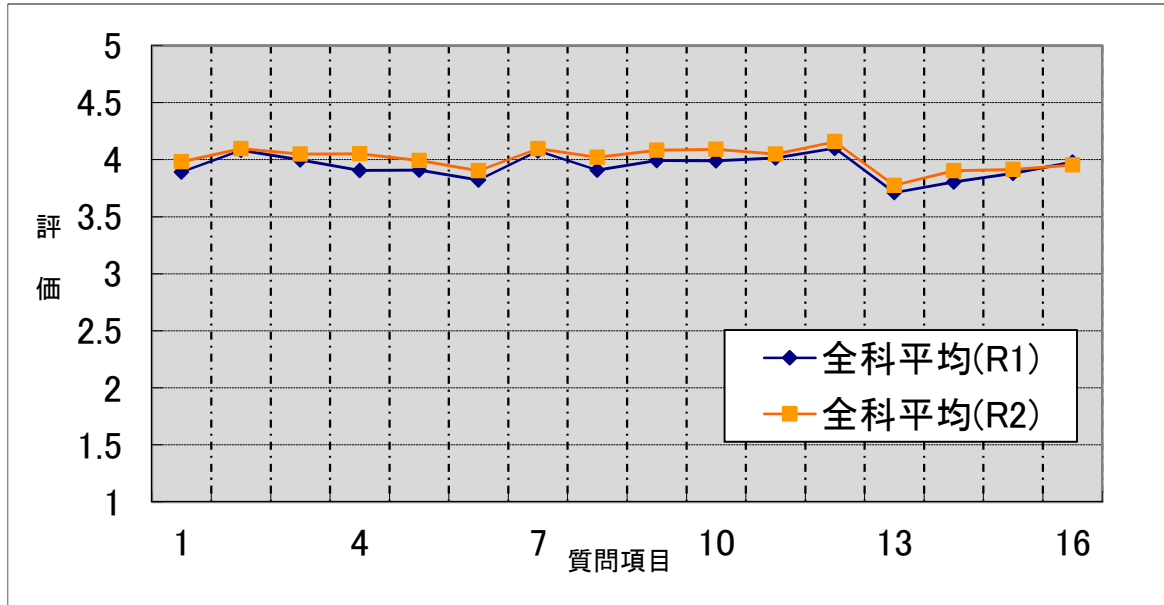
【授業評価アンケート】

設問1～5について以下の選択肢を使用して回答してください。

1. 良くない 2. やや劣る 3. 普通 4. 良い 5. 非常に良い

- 1 授業の開始時間に対し散漫ではなく、授業内容に対して時間配分は適切でしたか？
- 2 授業の構成、内容は十分準備されていましたか？
- 3 授業はわかりやすかったか？
- 4 授業の内容に興味を持つことができましたか？
- 5 授業の内容が教育要項に準拠していましたか？

臨床実習



	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
全科平均(R1)	3.89	4.08	4.00	3.91	3.91	3.82	4.08	3.91	3.99	3.99	4.01	4.10	3.71	3.80	3.88	3.98
全科平均(R2)	3.98	4.10	4.05	4.05	3.99	3.90	4.10	4.02	4.08	4.09	4.05	4.16	3.77	3.90	3.91	3.95

※1～11総合

R1	3.96
R2	4.04

【臨床実習評価アンケート】

設問1～16について以下の選択肢を使用して回答してください。

まったく思わない
1・・・2・・・3・・・4・・・5
とても思う

A. 指導医について

- 1 指導医と討論する時間が十分にあったか？
- 2 親身に接してくれたか？
- 3 問題点を見つけるよう指導したか？
- 4 時間を厳守するよう指導したか？
- 5 実習中の最終目標が明確に示されたか？
- 6 毎日の目標が示されたか？
- 7 医学的知識について指導を受けたか？
- 8 医学的スキルについて指導を受けたか？
- 9 知識・スキルについて誤りがあった場合、注意や訂正を受けたか？

B. セミナーについて（行われなかった場合は記入不要）

- 10 よく準備された教材を使用したか？
- 11 病態との関連について説明したか？

C. 自己評価

- 12 知識が増えたか？
- 13 基本的スキルができるようになったか？
- 14 診断・治療の選択が可能になったか？
- 15 症例の提示（発表）ができるようになったか？

D. 臨床実習の総合的評価

- 16 臨床実習を総合的に評価すると？